

2015

NO.1



ENGAWA



表紙のことば

昨年度、入場者 18 万人を達成した浜松城。桜が満開になったこの日も、多くの人で賑わっていました。城内では、浜松観光ボランティアガイドのみなさんが大活躍。お客様に、丁寧なご案内でおもてなし。案内を受けた若いカップルは、「歴史には興味なかったけれど、解説が聴けたことで、とてもおもしろかった」と満足した様子。

徳川家康公顕彰四百年の今年、観光ボランティアガイドの皆さんは、ますます忙しくなりそうです。

特集 市民 95% が協働の実践者



齋藤 正さん
浜松市自治会連合会会長
浜松市中区自治会連合会会長

区や市の連合会の活動の様子を、多くの皆さんに知っていただく必要があると語る齋藤さん。昨年、ホームページを立ち上げました。「浜松市自治会連合会」で検索してみてください。

市民協働が盛んに叫ばれている今、NPO 法人などに代表される、市民活動団体にスポットが当たりがちです。しかし、わたしたちの生活に密着した自治会活動も、市民協働に欠かすことはできません。

今回は、浜松市自治会連合会並びに中区自治会連合会の会長を務める、齋藤正さんにお話をうかがいました。

日本の縮図を、オール浜松で考える

合併以来、オール浜松で組織された住民団体は、ほとんどありません。観光協会も商工会も、地区ごとで組織されていますが、自治会は浜松市として連合会を立ち上げました。これには、オール浜松という認識を持って、地域自治を推進することが大切であると考えたからです。

海があり山があり丘陵地もある。そして都市部がある。農業も工業も盛んな浜松市は、日本国土の縮図であるといわれています。であるからこそ、住む環境は違っていても、何事もオール浜松で考えてこそその自治会だと思いますね。

自治会連合会の組織力が、地域力に！

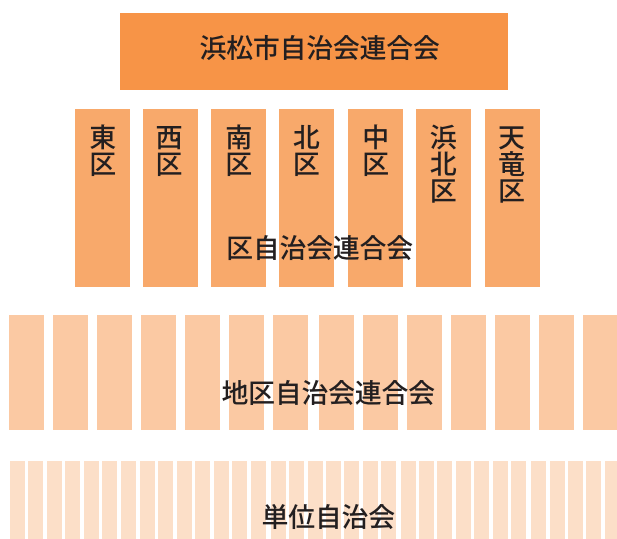
自治会の最大の強みの一つは、地域住民の声を吸い上げる力が強いことです。そしてもう一つが、一軒一軒へ細やかに、情報を伝達できること。広報力は、自治会の最大の強みではないでしょうか。この強みは、行政からのお知らせにも、貢献をしていると自負しています。

ただ、これからの課題として、改善していかなければならないことがあるのも事実です。区と市の連合会組織の運営は、どうしても行政に頼りがちなところがあります。もう少し、自立した組織運営ができるようにならないといけないと感じています。

行政に頼らない、自立した組織運営ができるようになれば、行政や議会と対等な立場で、ウィンウィンの関係が構築されていくと思います。また、連合会の組織力の向上が、地域力の向上に繋がっていくはずです。

もちろん、ある程度の行政の関わりは、必要です。特に、地域住民と行政機関との協議で、結論が出ないような場合も多々あります。そん

オール浜松で、構成されている浜松市自治会連合会の組織略図



な時こそ、行政には浜松の将来像を明確に示し、リーダーシップを発揮して、進むべき道を示してほしいものです。

市民活動団体との連携

自治会は、ご存知の通りその地域に住む人たちによって組織された地縁団体です。そのため、地域での住民の連携は、強いものがあります。住民の 95% が自治会に加入している政令指定都市は、全国的にも数少ないのではないのでしょうか。浜松では、95% の市民が、市民協働の実践者ということができます。

反面、NPO 法人などとの連携は、希薄だと思います。住民ニーズが多様化している現在、自治会と NPO 法人の協働も進めて行く必要があると感じています。NPO 法人にとっても、自治会の広報力は、魅力的ではないのでしょうか。

中区連合会で、事務局代行を NPO 法人にお願いしています。一つの先進事例になるでしょうね。今年から、祝寿会の企画・運営も、お願いしました。これを契機に、NPO 法人との協働を、いっそう推進していきたいです。

中区自治会連合会の事務局を担う NPO 法人のメリット

今まで、自治会の地区連合会、区連合会、そして市連合会がどんな役割を果たしているのかわかりませんでした。けれど、中区自治会連合会事務局の代行をさせていただくことで、それぞれの連合会の必要性を、知ることができました。と同時に、自治会と NPO 法人が、もっと連携できることがあるのではないかと感じています。

中区自治会連合会の斎藤会長からは、『もっと深く関わってほしい』と、声を掛けられました。数年間に及ぶ事務局代行に、よい評価のお言葉をいただき、大変嬉しく思っています。

今年は、中区内の有志自治会が、毎年合同で行っている祝寿会も、NPO 法人に企画・運営を任せられました。責任重大ですが、NPO 法人が関わるからできることを、実現していきたいと思えます。

NPO 法人にとって、一番嬉しいことは、地域の皆さんに自分たちの団体の活動を認めてもらえたこと。独りよがりの自己満足で終わらせない活動にするためには、本当に大切な協働相手だと感じています。



斎藤さんと、中区自治会連合会の事務局を代行する、特定非営利活動法人魅惑的倶楽部理事長の、鈴木恵子さん。

市民協働センターもオール浜松のお手伝い

浜松市市民協働センターでは、市から委託を受け、中山間地域交流ネットワーク事業を実施しています。平成 25 年度～26 年度にかけて、自治会連合会の交流に取り組みました。

平成 25 年度は、中区自治会連合会と、春野地区自治会連合会の各理事の交流を実施しました。この年は、全国ニュースでも取り上げられた、春野の崩落現場を見学。中山間地域が抱える自然災害による被害について学びました。

平成 26 年度は、中区自治会連合会と天竜区自治会連合会に加え、南区自治会連合会のみなさんも参加。建設が進む防潮堤をキーワードに、交流事業を実施しました。一行は、阿倉山で土砂の搬出現場を見学。実際の土砂搬出運行ルートを走行し、防潮堤建設現場を見学しました。

相互の交流はもちろん、住む地域の環境は違えども、自治会がオール浜松で取り組むべき「安心安全のまち」づくりについて、共通認識を深めました。



平成 25 年度に実施した、中区と、春野地区の自治会交流事業。春野町の崩落現場を見学しました。（写真左）参加された中区の自治会長さんからは、『北遠地域の問題がよくわかった』など、みなさんから交流事業に参加して、よかったとのご感想をいただきました。

また、美しい紅葉や、白井鐵造記念館など、初冬の春野も満喫しました。（写真右 2 枚）





平成 26 年度の中山間地域交流ネットワーク事業に参加された、天竜区自治会連合会、中区自治会連合会、南区自治会連合会、理事のみなさん。



阿倉山での現場見学。
市職員から、土砂搬出運
行ルートなどの説明を受
けました。その後一行は、
バスに乗って、防潮堤建
設現場に向かいました。

防潮堤建設現場では、
県の職員から「静岡モ
デル」と呼ばれる工法
の説明などを聞きました。
最後は、現場に設
置された見学タワーに
登り、工事の進捗状況
を確認しました。



お知らせ

絆
日本

■ 3.11を忘れない。

Partnership meeting

2015.6/20(sat)~21(sun)

地球のたまご
(浜松市西区村櫛町 4601)

エントリー受付中
5月10日まで

長い道のりも、手を取り合えば・・・。

浜松市市民協働センター

☎430-0929
浜松市中区中央一丁目13-3
☎053-457-2616
FAX053-457-2617

ふじのくに西部NPO活動センター

☎430-0929
浜松市中区中央一丁目12-1
☎053-458-7115
FAX053-458-7026

Partnership meeting

新しい事業を始めたい！いいアイデアがあるんだけど！そんな提案を持ち寄って、新しいパートナーと出会うための集会。それが、パートナシップ・ミーティングです。

提案者は、NPO 法人などの市民活動団体はもちろん、受託先を探している行政機関、新しい事業展開を考えている企業など、どんな団体／企業でも参加できる集会です。

さあ！新しいパートナーを見つけに来てください！

※政治活動、宗教活動、暴力団などに関わる提案、団体は参加できません。

聴講、見学は自由です。OM ソーラー株式会社の社屋「地球のたまご」は必見ですよ。

4つの参加方法

- 新しいパートナーを見つけるために、プレゼンテーションをしたい（限定8団体）
- ポスターなどの展示や、パンフレットを配布して、新商品のPRや団体紹介をしたい。
- 飲食の販売、商品の販売をしたい。
- 企業のCSRとして、プリントサービス、ケータリングサービス、健康チェック、無料相談、試乗会などミニイベントを開催したい。



参加説明会
4月25日、午後1時から
市民協働センター

説明会に参加しなくても
参加できます！

まずはエントリー

参加したいと思ったら、まずエントリーを5月10日までに！参加の取消は後日できますが、この日以降は、新規参加ができなくなります。

詳しくは

パートナシップ・ミーティング

検索

浜松市外も参加 OK

浜松市以外の団体、行政機関、企業も参加可能です。浜松市以外の皆さんは、ふじのくに西部NPO活動センターへどうぞ。

【ふじのくに西部NPO活動センター】

〒430-0929

静岡県浜松市中区中央1丁目12-1 静岡県浜松総合庁舎1階

TEL 053-458-7115 / FAX 053-458-7026

E-mail fnc-west@shizuoka.tnc.ne.jp



市民協働センター データベースに登録しよう！

市民協働センターには、新聞社や行政機関、そして企業などから、問い合わせがあります。たとえば、『子育て支援の活動をしている団体はありませんか？』とか、『今も、被災地支援をしている団体はありませんか？』など。これはほんの一例。

市民協働センターでも、市内のすべて団体の活動内容を把握するのは、困難なことです。そこで、市民協働センターのホームページ内に、団体の情報を掲載するサイトを設けました。

まだ、登録がお済みでない団体は、お気軽にお申し込みください。あなたの団体が、協働相手を探すときにも、役に立つかもしれません。

こんな団体
ないかな～？

どこかと
協働したいな～？



市民協働センターのホームページに団体の情報を掲載！ 「つながりたい」という思いを後押しします。

【掲載対象団体】

- 市民活動団体や企業等で、社会貢献性を持つ活動を行うことを主な目的として、協働や連携を希望する団体。
- 継続性を持つ団体。

※ 宗教に関する活動、政治活動、選挙活動を主な活動としている団体は掲載できません。

**掲載ご希望の場合、電話、メール、FAX、センター窓口にて
お気軽にお問い合わせください。**

浜松市市民協働センター

☎430-0929 浜松市中区中央一丁目13-3

☎053-457-2616 FAX053-457-2617



URL <http://www.machien-hamamatsu.jp/>



E-mail kyoudou@machien-hamamatsu.jp